家畜伝染病予防法の改正に伴う罰則強化

令和2年6月29日 在ザンビア日本国大使館

【ポイント】

農林水産省は、同省 HP において、家畜伝染病予防法の改正に伴う罰則強化について周知しているところ、概要下記のとおりです。

【本文】

日本への肉製品の持込みは原則禁止されています。

家畜伝染病予防法が改正され、2020年7月1日より違反者への罰則が強化されました。検査を受けずに海外から畜産物を違法に持ち込んだ場合、「3年以下の懲役または300万円(法人の場合は5,000万円)以下の罰金」となりますので、ご注意ください。免税店で購入したもの、海外から送付される荷物も対象となります。

詳細はこちらをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/aqs/tetuzuki/product/aq2.html

【英文】

[Fine for Illegal Import and Export of Livestock Products to Triple] The revised Act on Domestic Animal Infectious Disease Control came into force on July 1, 2020.

Following the amendment, the maximum fine for illegal import and export of livestock products including meat products will be raised from one million yen at present to three million yen (50 million yen for enterprises).

Souvenirs brought back by individuals and import and export by mail are also subject to this penalty.

http://www.maff.go.jp/aqs/english/product/import.html

【問合わせ先】

在ザンビア日本国大使館

- 〇大使館受付
 - +260-211-251-555
- ○領事・警備班
 - +260 977 77 1205

+260-977-77-1206

このメールは「在留届」及び「たびレジ」に登録されたメールアドレスに自動的に配信されております。

※「たびレジ」簡易登録をされた方でメールの配信を停止したい方は、以下の URLから手続きをお願いいたします。

https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete (停止)_



